

地方廳
交渉

(三浦長崎要港知港事附報告抜萃)

(二八
八三。付)

一地方廳ト交渉願未

長崎縣廳ニ對シテハ水路嚮導施行ニ際シ其

旨通知セシトアリシ然ルニ未タ何等ノ令違

ナキヲ以テ水上警察ヨリ在港船隻等ニ通知

スルトトセリ

日清戦史高下

海軍

檢疫施行中ナリシヲ以テ香港地方ヲ經テ来
ル船ノ檢疫中繫泊方等ノ件悞議セリ
天橋丸来着前ハ該船請取渡ヲ終ル迄テ乗員
其他取締上ニ突シ命ニ依リ教回縣官及警察
官等ニ悞議セシ由ナリ
水雷撤去終了ノ際嚮導ヲ瘵スル肯口頭ヲ以
テ通知セリ

渡船取
締

(佐水布森長崎支隊司令及三浦長崎要港

知港事ヨリ連名上申

公一八八九年八月廿五日

一長崎港口東高針島ト陰ノ尾島燈台ト連結ス

ル線西四郎ヶ島ト香焼島沿岸カシタ島ト

連結スル線以内ハ水雷布設危険区域ニ交ル

漢舟碇ヲ投シ漢網ヲ張り漢業ヲ営ム者不敷

候條右ハ第一水雷電纜ヲ破損スルハシナラ

ズ却テ危険ニ陥ルノ虞アリ不相濟義ト存ス

日清戦況

海軍

間長崎縣庁ト御照會相成右等ノ事御差止メ
相成候極致度此段連名ヲ以テ上申上候也

大森長崎縣知事ト照會付基三〇付
四七号之甲

一長崎港口東高針島ト陰尾島燈台ト連絡

セ儿線

一西四郎ヶ島ト香燒島沿岸ガシター島ト

連絡セ儿線

右線内ニ於テ漢舟鉤ヲ投シ網ヲ張り漢業

ヲ管ム者往々有之矣線内ハ防禦上尤モ尤
要ノ場所ニシテ沈置水雷益具ヲ破損ムル
ノ虞ナルノミナラス危險不勘義ニ付可然
御諭達相成矣様致度此段及御照会矣也

(大森長崎縣知事ヨリ回答一〇三付シテ第一二五号
依第一四六号ノ三)乙)

長崎港外危險物沈置線内ニ於テ漢丹投鏝
張網等ノ件ニ付佐第一四六七号御照会ノ
趣了承夫々示達取計置矣条御了知相成度

此段及御回答矣也

(三浦要港知港事心得へ參謀長ヨリ通知

一。三四付
付券二四六七号ノ由)

長崎港外危險物沈置線内ニ於テ澳舟投錨

張網等ノ件ニ付御稟申ノ末列紙甲号ノ通

長崎縣知事へ御照会相成候処乙号ノ通リ

回答有之候條右ニ御了知相成度此段申進

候也

別紙甲号乙号ハ前二項ヲ云フ

（森三浦兩大尉ヨリ連名上申二九付
付第三四五号）

一 深堀瀬戸ノ内南有海鼻ト香焼島田ノ浦鼻

ト連結セル線

北深堀村ノ前面大瀬ヨリ平瀬立標島ノ森

岩香焼島沿岸松島ヲ連結セル線

右線内ニ於テ澳舟錨ヲ投シ網ヲ張り漁業ヲ

日清戦史備考

海軍

管人毛ノ往々有之候処沈置水雷器具ヲ破損
スル虞アルノミナラス危険不欺矣條右至急

長崎縣知事、御昭会相成右等ノ事無之様御

差止相成矣様致度此段以連名上申仕矣也

(大森長崎縣知事、照会 一六二二付
一六三六四号、二)

一深堀湊戸ノ内南有海鼻、香焼島田、浦鼻

ト連結セシ線

一北深堀村、前面 大 湊ヨリ平湊立標島、壘

岩香燒島沿岸松島ヲ連結セル線

右線内ニ於テ漢舟錨ヲ投シ網ヲ張り漢業ヲ

営ム者往々有之矣処右ハ沈置水雷器具ヲ破

損スルノ虞アルノミナラス危険不敷義ヲ付

右等ノ儀無之掃其向ハ御示違相成様致度此

段及御照会矣也

(右回答)

付第一四付乙三第ニ三四一子
付第一四付乙三第ニ三四一子

深堀津戸ノ内南有海鼻ト香燒島田ノ浦島

ト連結セル線及其他ノ線内ニ於テ漢丹鐵
 ヲ投シ網ヲ張ル者無之様示達方ノ件去ル
 十一日付ヲ以テ御照会ノ趣了承右ハ告達
 取計済ニ付此段及御回答候也

(三浦要港知港事) 訓令 一〇二前一二五号
訓令第六五号

一鳳翔船長ヨリ戰時禁制品搭載ノ中立國船舶
 ニシテ之ヲ拿捕引致スルニ際シ小蒸汽船ヲ

要スヘキ請求アル中ハ長崎港嚮導船ノ内一
艘ヲ操合セ該船長ノ使用ニ應スヘシ

(備考)

同号ノ二ヲ以テ鳳翔船長ヘハ右ノ旨通達

(三浦長崎要港知港寺心得ヨリ參謀長ヘ

報告一二二九付)

一昨二十八日午後七時二十分嚮導船乗組小掠

大尉港外ニ於テ夜直ノ際露國義勇艦隊
 波ヲフ港外ニ来着信号火箭一発ヲ打揚ケタ
 リ嚮導艇ハ早速之ニ近寄り且浮舟ニテ露船
 ニ近ツキレモ波浪高ク動搖甚シク舷側ニ着
 船シ難キ際彼ヨリ出タル索端ヲ舟内ニ取リ
 英語ヲ以テ此港口ニ水雷布設シテリ夜中入
 港ヲ禁シ嚮導難致明朝迄待ツヘキ旨ヲ通セ
 シト虽氏彼レ待ツテ能ハス嚮導出来サレハ

我自身ニ行クハ答ヘナカラ逸走シ我レ之ヲ
追フモ及ハス終ニ入港セリ小官ハ此報ヲ得
ルヤ否ヤ直ニ該船ヲ訪問シ船長ニ面会ヲ求
メシル船長不在トノ事故船長代理者ニ就テ
港則書ヲ示シ取ル矣此港則ハ全ク之ヲ知
ラス彼レ且云フ船長モ英語ヲ解セズ唯余ノ
ニ新嘉坡ニテ少ク習フタルモ充分ニ不通故
終ニ如斯不都合ヲ生シタルナリト又何故ニ

火箭ヲ揚ケタルヤヲ聞ヒシニ唯我注意ノ為
トニ揚ケタル迄ナリ別ニ余ノ義ナシト答ヘ
タリ仍テ不得止后来ヲ戒メ且此旨確ト船長
ニ通ムヘシト申遣リ立歸リ申矣

追テ前文ノ通り港外ニ於テ露船ト問答矣
際水雷布設部ニハ電気燈ヲ以テ終始照居
矣趣ニテ通過ノ際別段故障モ無ク是又御
省念被下度矣

(備考)

本件ハ直ニ知港事ヨリ電報ヲ以テ概要報
告スルニ
今マ之ヲ畧ス

(三浦要港知港事ヨリ玉利益謀ハ書函

一二二付)

撤去

一拜啓御繁務奉察矣扱港口ノ水雷最早本日
限リ蔭ノ尾島高鉾島間ノ分ハ大抵撤去相成

日清戦史高木

海軍

候様森大尉ヨリ聞知致矣処随テ郷導モ瘥止
可致ノ処

第一通年ハ如何可致哉

第二兼テ雇入タル解舟ハ用済ノ上解雇可致

哉

第三事務所モ其ニ瘥止可然哉

第四小官以下並テ勤務員ノ進退如何可相成

哉

第五、各郷導船ハ佐世保ニ回ス乎將タ当地ニ

テ解雇ノ義可申渡哉

右至急御開合御通知ヲ煩度此段及御依頼矣

也

長崎港三浦要港知港事心得ハ参謀長

發電 一二二台二卷

長崎港口ノ水雷ヲ引揚ケ了リタリト美記

公達ナル迄ハ従前之通り御承知アレハ

日清戦記高下

海軍

（辞令 三七一三三付）

海軍大尉 三浦重郷

免佐世保鎮守府要港知港事心得補筑波副長

（長崎出島三浦要港知港事ヨリ参謀長へ

電報 一三三前一二三五發）

知港事々務一三浦豫備大尉ニ引継当地ヨリ

直ク赴任シテ宜敷哉指令俟ツ

(右返電 一二三前二五五終)

長崎ヨリ直ク赴任アリテ宜シ

(長崎港要港知港事廳小探大付ハ參謀長

飛電 一二五 右四四五終)

一長崎港水路嚮導ノ義ハ何分ノ御達アル迄從

前之通りト御承知アル

長崎港要港知港事廳

長崎

(長崎港三浦要港知港事心得ヨリ参謀長

死電報 一三六前九ノ受)

水路嚮導ハ従前ノ通りト命セラレタルモ

既ニ去一日森大尉ヨリ水雷撤去結了ヲ知

港事ヨリ水路嚮導ヲ察スル旨縣廳ハ通知

セシ為メ外國領事ハ艦船出入差支ナキ旨

通知ニ及且去三日海軍大臣ハ伺出タル処

(此不明電)ヨリ嚮キニ海軍大臣ノ發シタル長

崎港出入ニ関スル告示十四十六ハ廢セラ

レタル旨官報ニテ發表セシ返電アリ仍テ

縣下ニ告示セリ今又始メテハ如何ノモ

ニヤ何分ノ義至急電答アリタシ

(土岐海軍大臣秘書官(參謀長)發電

一三六前九四〇發)

長崎港布設水雷撤去了リタル報告ハ去一

日大本營へ為セリ訖テ長崎港船舶出入ニ

閉スル告示ニ未タ發布ナラサルヤ右告示
之レナキ中ハ水路嚮導ヲ廢止スル事能ハ
ス依テ伺フ

(大本營山本海軍大臣副官ヨリ參謀長ハ)

電報 (ニニ六右五三五受)

御問合ノ告示廢止ノ義ハ海軍省ヨリ何分

ノ回答アルヘシ尤モ右告示ハ去ル四日ノ

官報ニテ発表サレタルハ事實ナリ

(軍務局長ヨリ參謀長へ電報一三六台三五受)

本年八月海軍省告示第十四号及第十六号

ハ一昨日ノ官報ヲ以テ廢セラレシ同年同月

水路告示第六六五号長崎港外水道交通ノ

禁ハ昨日ノ官報ヲ以テ之レヲ解カレタ

リ

(大本營三須軍事内局員へ參謀長發電)

一三六台三五受)

一本年八月海軍省告示第十四号第十七号一
 昨日ノ官報ヲ以テ癸キレタル旨唯今軍務
 局長ヨリ電報アリ右ニ付長崎要港知港事務所
 三浦豫備海軍大尉小掠海軍大尉ノ進退ヲ伺

1

(右返電一二七石三三五受)

長崎要港ノ定員ヲ癸セラレタルニアラズ
 船舶出入ノ告示ノ三癸セラレタル旨ナレ

ハ士官ノ進退ハ命アル迄其俟ト御承知ナ
リタシ

(大本營山本海軍大臣副官ハ參謀長發電

一二六右一・三五終)

一長崎港出入船舶ニ関スル海軍省告示第十四
号第十六号ハ廢止ノ旨官報ニテ發表セシ旨
長崎縣庁ハ御通知アリレヨ^レ承知セリ果シテ

然ルヤ本府ニハ何タル御達シナキニ付至急
伺出ツ

（海軍省軍務局長ヨリ参謀長へ電報

一二七五五度一

長崎縣ヨリ告示文通知イリタキ旨去ル一

日申出居リタリ依リテ第十四号第十六号

ハ本日ノ官報ヲ以テ癸セラレタル旨去ル

四日ニ又水路告示第六六五号ニ関シテハ

本日ノ官報ヲ以テ解カレタル旨去ル五日
ニ本官ヨリ通知セリ山本副官ヨリ申越ノ
次第モアリ御回答ス

〔長崎要港知港事々務所三浦大尉ノ参謀
長ヨリ發電一三六号四二〇登〕

一水路嚮導ハ癸サレタリ貴官等ハ何分ノ義御
達アル迄其地ニ在ルヘシ嚮導船新八幡丸ヲ

上海電丸ハ明七日佐世保へ回航ノ事ニ取計
ヒアリタシニ池丸勢尾丸ハ解傭スルニ付其
地ニ置カルヘシ

（右同大尉ヨリ参謀長へ電報一六六右〇度）
事務所モ癸セシヤ下士卒モ此ニ居ルカ官
用需品ハ新八幡丸ニテ送ルヤ至急電答ア

（右返電一三七前一〇四五答）

事務所ハ至分其低下士卒其他器具等ハ新
八幡丸ニテ送ラルヘシ

(辞令 一二七号)

佐世保鎮守府要港知事階海軍大尉 小掠元吉

免本職補佐世保鎮守府海兵團分隊長

佐世保鎮守府要港知事階豫備海軍大尉 三浦義深

免本職補佐世保副知港事

日清戦史高木

母 頁

(長崎小掠大尉より参謀長へ電報)

一二八台五丁受)

一知港事務所の瘵をラレシヤ後任者アリヤ
至急電令アリタシ

(右邊電一二八台七袋)

後任者ナシ事務所ハ引拂ヒノ上赴任アリ

タシ

（要港知港事附三浦大尉ヨリ參謀長、

通知
公二二二付

一去ル六日長崎港口水路嚮導被癘矣旨御電達

二付該嚮導中雇入居候英語通辯石崎靜美ハ

同日限り解雇ニ同七日下午士卒及備付官用物

品送還方可取計旨御電達ニ付即日御用船新

八幡丸ニ便乗セシメ退廳帰團為致官用物品

日清戦史高木

海軍

八同船ニ積込福島三等兵書ニ保管セシメ夫々還納方為取計矣胡右御了知迄此段及御通知矣也

竹和
海軍
九月

海軍
九月

天野要港知港事報告抜萃

水路嚮導ニ関スル件

水雷敷設線上水雷嚮導航路ハ苗中黒線第一

ハ淺水湾航路第二黒線ハ仁位口航路第三黒

線ハ瀨斗岩航路トス

船

淺水湾海ヨリ入港セントスル艦船ハ泉島中央

ヲ左舷雄現(エウゲン)鼻ヲ右舷ニ並フト同時ニ進

行ヲ止ム昼ケ浦山ノ頂上右舷單崎鼻ヲ左舷

ニ並フト進行ヲ始ム

仁位湾ニ入港セントスル艦船ハ昼ケ浦ノ頂

山船尾ニ温江砲台下ノ道標ヲ船首ニ見テ進

行四十八番望楼台アル山上右舷單崎端ヲ左

舷ニ並フト時ヨリ進行ヲ止ム名瀬崎ノ端ヲ右

日清戦記高木

海軍

大正天皇御即位二十周年記念

船衆島ノ中央ヲ凹山左舷ニ並ノ時ヨリ進行
ヲ始ム

漏斗谷口ヲ経テ竹敷ニ入港スル艦船ハ四十

八名ノ西端ヲ左舷ハイルギ岩ヲ右舷ニ並ノ

処ニテ進行ヲ止メ大平崎ヲ左舷ニ怒崎ヲ右

舷ニ並ノ時ヨリ進行ヲ始ム

一出港スル中ハ右ニ反對ス

一水路嚮導終リタル中ハ舵ヲ轉ルト共ニS

旗ヲ降下ス

一入出艦船ニ与ヘル信号

一我航路ニ従ハ

一長笛一声短笛一声進行ヲ止メ

一長笛一声全速力復ル

一S旗ヲ下ス中水路嚮導ヲ止ムル

一嚮導標ハ渠上(左ノ如シ)首説明ノ標設置セリ

備考

目 清 單 及 和 才

海 軍

上カレウ

↑ 四十八 旨 望 樓 設置 ナキ 為 敷 設 部 ト 候

議 (上 單) 漏 斗 谷 伍 伍 口 入 箇 中 朱 點 ノ

位 置 ニ 晝 中 (間) ハ 赤 旗 ヲ 樹 テ 夜 間 旗 (此レ) ニ 代 工

ル ニ 赤 燈 ヲ 以 テ 布 設 部 防 衛 部 應 信 ト

ナ ス

(2)

海軍

1169